

(3) 緑を活かす

緑や水の資源の結び付きを高め、ネットワーク化を強化するなど、より一層の緑の活用を図ります。また、箱根西麓の森林についても、市民の自然体験学習、多様なレクリエーション活動の場として有効に活用します。

《施策展開の方向》

緑と水のクラスター の形成

水辺の緑の資源を拠点として、市民が水とふれあい交流できる水辺空間を創出するため、散策路の整備や、河川と道路の交差する場所に橋詰公園 等の整備を進めます。



緑と道のクラスターの形成

緑と水のクラスター軸を補完し、景勝地やシンボリックな街路樹などを結び、市民や訪れる人々が快適に散策・ハイキングができるよう、市内の主要道路を軸とした歩行者ネットワークの形成を進めます。

クラスター軸と連携した拠点形成

クラスターの主軸に連なる緑と水、緑と道のクラスター軸に連なる既存公園等を活用し、クラスター軸と一体となる緑の拠点形成を進めます。

クラスター：p.15 参照

橋詰公園：道路と橋の境目にあたる空地を利用し、ベンチ等の施設を設けて休憩などに資する広場として活用できるものです。